



放課後
デイサービス
ライト

～ぐんぐん育つ季節です～農業体験～

すっかり暑い季節になりました。この時期は少し離れたところの畑に行っておイチゴを収穫したり、夏野菜の苗を植えたりしています。時間には限りがありますが、土に触れて、ざくざく掘ったりまぜたりすることを大人も子どもも関係なく楽しんでいます。今回は上出来とはいえなかったイチゴですが、他の作物もクッキングの時に頂いたりしました。

これからもっとじっくり取り組みたい活動です。
(ライト小林)



放課後
デイサービス
レフト

新緑の6月です。レフトに新しいスタッフそして新しいお友達が加わりました。

新加入のお兄さんスタッフに初めは戸惑いながらも一緒にお弁当を食べ、遊び、主活動をしていると自然に笑顔がこぼれています。子ども達も楽しそうです。

今月からのお友達も初めてと思えないほど、元気に周りに溶け込んでいて、これから一緒に過ごすデイが楽しみです。皆様、宜しくお願い致します。

さて、先日、レフトの玄関の側に小さいですが新しく花壇が出来ました。きれいなお花を頂いてばかりで、有り難うございます。花の苗を頂き早速植えました。秋にきれいな花が咲くといいなあ。

これもまた楽しみです。(レフト正野)



デイサービス通信

ピクニック弁当



まごころ広場の前の公園の木々が新緑の美しい季節になりました。5月の末、昼食をピクニック気分、弁当を作り、戸外でテーブルをセッティングして楽しむことにしました。いつもの室内で食べるのと違い、気分も爽やかに「気持ちいいねー」と皆食欲もそりました。食後も公園を散歩しておしゃべりも弾んでいました。



6月の梅雨の晴れ間の日には、あじさい神社として知られている、尾西の『御裳神社』へ出かけました。あいにく境内のあじさいはまだ咲き誇ってはいませんが、テーブルをお借りしてそこでお弁当をいただきました。外出もゆっくりして楽しむことができました。



御裳神社のあじさいの前で休憩…



つぶやき

私の履歴書



この4月で85歳となり、全身不随である私自身としても改めてびっくり。

26歳の夏に水難事故で頸髄を損傷、7年近く入院。麻痺の治らぬまま家庭療養に入り、今後どう生きようかと真剣に考え出した。幸い握力ゼロの左掌にペンを挟んで文字が書けるようになっていたので、通信教育で校正を受講し、小説を書いて新人賞に応募もしたがものにならず、新聞の「発言」欄に投稿し何度も掲載されたのがせめてもの救い。

そんな折、新聞の「川柳」にふと目が留り、これなら出来そうだと見よう見真似で投句してみた。初投句が紙面に載った時の舞い上がるような歓喜と、麻痺の手による達成感とを今も忘れる事はなく、それが私を川柳にのめり込ませて行く原動力となった。

その間、「発言」の私の意見を読み続けていた身障女性から手紙が届いたのが縁で結婚できた事が、書字機能を取り戻した最大の成果と言える。その妻が長期入院し、私の就寝介護に困り果ててお願いしたところ、平田代表が快く引き受けて下さり、それがまごころさんとの付き合いの始まりで、それ以降毎日毎晩実に22年も菩薩のような温かい手を差し伸べて貰っている。その妻は3年前に他界して私は独居老人に。しかし毎日多くの人に支えられて暮らしている私は、日本一の幸せな独居老人だと思っている。感謝感謝。

明日へあすへ背を押してくれる菩薩の手

澤田 清敏



※今月より新連載「つぶやき」を利用会員の澤田清敏さんが執筆していただきます。どうぞお楽しみに。

ケアマネジャーの目

No.1 サロンと介護保険

「まごころふれあいサロン」は、毎週 火木 土10:00~16:00に開催しています。一宮市認定お出かけ広場でもあり、特に木曜午前は満員御礼。カラオケ、麻雀、スケッチ、おしゃべりに花が咲きます。杖歩行や歩行器、自転車、バスでみえる方、車いすの方も。いずれにしても、自分の意思で、自力でいらしめることに意味があるのでしょうか。中には、90歳を超え介護保険を利用していない方も。

日々ケアマネ業務では、どこのデイサービスをお勧めしようかと悩むこともあります。

時々サロンをのぞいて、サロンにいらっしゃる方から、パワーを頂いています。生きる力、地域の絆、ボランティアさんの愛情を感じます。お帰りの際は、後ろ姿に無事の帰宅を願わずにはられません。(武保)

～知っておきたいヘルパーの知識～

暑い季節になると「外出できない」「家に一人で居るのがこわい」と悩んでおられる利用者さんが居ます。

自宅で熱中症になり、救急車を呼んだ経験から「夏が怖い」とも言われました。

室内でも高温多湿な環境になり、体内の水分と塩分のバランスが崩れ、調節機能がうまく働かず熱中症を起こしてしまったようです。

訪問したら、利用者さんの健康チェックが先ず必要です。 顔色・表情等観察し水分を勧めてください。部屋が暑いなど感じたら環境を涼しくする、体を冷やす等心がけましょう。

